

第十類 補任 考課

第一款 任用 進級 増俸

●海軍武官任用令

大正七年十月二日
勅令第三百六十五號

改正

大正九年第六四號、一〇〇年第一四二號、一三年第二四五號、一五年第一〇八號、昭和二年第二九號、九年第四二號、一二年第二九號、第四五〇號、第七二三號、一三年第五六五號、一四年第七七一號、一五年第六四四號、一六年第三三〇號、第六二八號、第一〇五九號、一七年第三二二號、第四四五號、第六四八號、第八一六號、一八年第一二號、第四七四號、第七九六號、一九年第二六四號、第五五三號、第五八九號

朕海軍高等武官任用令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム(總理、海軍大臣副署)

海軍武官任用令

第一章 總則

第一條 海軍武官ノ任用ハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外本令ニ依ル

第二條 本令ニ於テ候補生トハ少尉候補生及主計少尉候補生ヲ

謂ヒ見習尉官トハ軍醫見習尉官、藥劑見習尉官、主計見習尉

官、技術見習尉官、齒科醫見習尉官及法務見習尉官ヲ謂フ

第三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ候補生ニ之ヲ採用スルコ

トヲ得ズ

一 年齢二十八年以上ノ者

第十類 任用 進級 増俸

〔海三十八〕 諸二ノ二〇三

二 禁鋼以上ノ刑ニ處セラレタル者

三 破産者ニシテ復權ヲ得ザルモノ

第三條ノ二 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ見習尉官ニ之ヲ採用スルコトヲ得ズ

一 年齢二十年未滿ノ者

二 前條各號ノ一ニ該當スル者

海軍ニ召集中ノ下士官又ハ兵ヨリ見習尉官ヲ採用スル場合ニ於テハ前項第二號ノ規定ニ拘ラズ年齢四十年未滿ノ者ヨリ之ヲ採用スルコトヲ得

第四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ士官ニ之ヲ任用スルコトヲ得ズ

一 年齢二十年未滿ノ者但シ候補生ヨリ任用スル者ニ付テハ

此ノ限ニ在ラス

二 任用スヘキ官ノ現役年限年齢前八年以内ノ者但シ前條第

二項ノ規定ノ適用ニ依リ採用シタル見習尉官ヨリ任用スル

者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

三 第三條第二號又ハ第三號ニ該當スル者

第五條 軍醫科士官ニ任用セラルヘキ者ハ醫師免許證ヲ、藥劑

科士官ニ任用セラルヘキ者ハ藥劑師免狀ヲ、齒科醫科士官ニ任用セラルヘキ者ハ齒科醫師免許證ヲ有スルコトヲ要ス但シ特別ノ事由アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第二章 候補生及見習尉官ノ採用

第六條 少尉候補生ハ海軍兵學校ノ生徒課程ヲ卒業シタル者ヨリ之ヲ採用ス

第七條 削除

第八條 主計少尉候補生ハ海軍經理學校ノ生徒課程ヲ卒業シタル者ヨリ之ヲ採用ス

第八條ノ二 軍醫又ハ藥劑見習尉官ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ヨリ之ヲ採用ス

一 海軍軍醫學生又ハ藥劑學生ト爲リ大學令ニ依ル大學ノ醫學部ニ於テ學課ヲ修メ學士ト稱スルコトヲ得ル者

二 前號ニ掲グル者ヲ除クノ外大學令ニ依ル大學ノ醫學部ニ於テ學課ヲ修メ學士ト稱スルコトヲ得ル者ニシテ身體検査ニ合格シタルモノ

三 海軍軍醫生徒又ハ藥劑生徒ト爲リ大學令ニ依ル大學ノ附屬藥學專門部、官立醫學專門學校、國民醫療法施行令第一

條第一項ノ規定ニ依リ文部大臣ノ指定シタル私立醫學專門學校、官立若ハ公立ノ藥學專門學校又ハ藥事法施行令第一條第一項第一號ノ規定ニ依リ文部大臣ノ指定シタル學校ヲ卒業シタル者

四 前號ニ掲グル者ヲ除クノ外同號ニ掲グル學校ヲ卒業シタル者ニシテ身體検査ニ合格シタルモノ

第八條ノ三 主計見習尉官ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ヨリ之ヲ採用ス

一 海軍主計學生ト爲リ大學令ニ依ル大學ノ法學部、經濟學部又ハ商學部ニ於テ學課ヲ修メ學士ト稱スルコトヲ得ル者

二 前號ニ掲グル者ヲ除クノ外同號ニ掲グル大學學部ニ於テ學課ヲ修メ學士ト稱スルコトヲ得ル者ニシテ身體検査ニ合格シタルモノ

三 高等試験ニ合格シタル者ニシテ身體検査ニ合格シタルモノ

四 海軍主計生徒ト爲リ大學令ニ依ル大學ノ附屬商學專門部又ハ高等商業學校ヲ卒業シタル者

五 前號ニ掲グル者ヲ除クノ外大學令ニ依ル大學ノ附屬商學

專門部又ハ專門學校令ニ依ル專門學校ニ於テ法學、經濟學

又ハ商學ニ關スル課程ヲ卒ヘタル者ニシテ身體検査ニ合格

シタルモノ

六 大學令ニ依ル大學ノ法學部、經濟學部又ハ商學部ニ概ネ

一年以上在學シタル者ニシテ身體検査ニ合格シタルモノ

第八條ノ四 技術見習尉官ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ヨリ之

ヲ採用ス

一 海軍技術學生ト爲リ大學令ニ依ル大學ノ工學部、理學部

又ハ農學部ニ於テ學課ヲ修メ學士ト稱スルコトヲ得ル者

二 前號ニ掲グル者ヲ除クノ外同號ニ掲グル大學學部ニ於テ

學課ヲ修メ學士ト稱スルコトヲ得ル者ニシテ身體検査ニ合

格シタルモノ

三 海軍技術生徒ト爲リ專門學校令ニ依ル專門學校又ハ之ト

同等以上ノ學校ニ於テ技術科士官ニ必要ナル學課ヲ修メ卒

業シタル者

四 前號ニ掲グル者ヲ除クノ外同號ニ掲グル學校ニ於テ技術

科士官ニ必要ナル學課ヲ修メ卒業シタル者ニシテ身體検査

ニ合格シタルモノ

第八條ノ五 齒科醫見習尉官ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ヨリ

之ヲ採用ス

一 海軍齒科醫生徒ト爲リ專門學校令ニ依ル專門學校又ハ之

ト同等以上ノ學校ニ於テ齒科醫科士官ニ必要ナル學課ヲ修

メ卒業シタル者

二 前號ニ掲グル者ヲ除クノ外同號ニ掲グル學校ニ於テ齒科

醫科士官ニ必要ナル學課ヲ修メ卒業シタル者ニシテ身體檢

査ニ合格シタルモノ

第八條ノ六 法務見習尉官ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ヨリ之

ヲ採用ス

一 海軍法務學生ト爲リ大學令ニ依ル大學ノ法學部ニ於テ學

課ヲ修メ學士ト稱スルコトヲ得ル者ニシテ司法官試補タル

ノ資格ヲ具フルモノ

二 前號ニ掲グル者ヲ除クノ外大學令ニ依ル大學ノ法學部ニ

於テ學課ヲ修メ學士ト稱スルコトヲ得且司法官試補タルノ

資格ヲ具フル者ニシテ身體検査ニ合格シタルモノ

三 前二號ニ掲グル者ヲ除クノ外司法官試補タルノ資格ヲ具

フル者ニシテ身體検査ニ合格シタルモノ

第九條 候補生及見習尉官ハ現役海軍軍人トシ其ノ身分ハ奏任

官ノ待遇トス

第十條 候補生及見習尉官ハ情願ヲ以テ之ヲ辭スルコトヲ得ス

第十一條 候補生ハ十月以上、見習尉官ハ二月以上實務練習ヲ

爲サシム

戰時又ハ事變ノ際ニハ定規ノ實務練習ヲ爲サシメサルコトヲ得

實務練習ニ關スル規程ハ海軍大臣之ヲ定ム

第十二條 候補生又ハ見習尉官ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル

者ハ之ヲ免ス

一 傷痍又ハ疾病ノ爲士官タルニ適セサル者

二 軍紀ヲ紊リ又ハ品行不正ニシテ改悛ノ目途ナキ者

三 公務ニ原因セサル事由ニ因リ所在不明ナル者

四 實務練習ノ成績劣等ニシテ技能發達ノ目途ナキ者

五 士官タルヘキ器量ニ乏シキ者

六 候補生又ハ見習尉官ノ本分ニ背キタル者

第三章 士官ノ任用

第十三條 少尉ハ少尉候補生ヨリ之ヲ任用ス

第十四條 軍醫少尉又ハ藥劑少尉ハ各軍醫又ハ藥劑見習尉官ニ

シテ第八條ノ二第二號乃至第四號ノ規定ニ該當スル者ヨリ之ヲ任用ス

第十五條 主計少尉ハ主計少尉候補生又ハ主計見習尉官ニシテ

第八條ノ三第二號乃至第六號ノ規定ニ該當スル者ヨリ之ヲ任用ス

第十六條 技術少尉ハ技術見習尉官ニシテ第八條ノ四第二號乃至

第四號ノ規定ニ該當スルモノヨリ之ヲ任用ス

第十六條ノ二 齒科醫少尉ハ齒科醫見習尉官ヨリ之ヲ任用ス

第十六條ノ三 法務少尉ハ法務見習尉官ニシテ第八條ノ六第三

號ノ規定ニ該當スルモノヨリ之ヲ任用ス

第十七條 軍醫中尉又ハ藥劑中尉ハ各軍醫又ハ藥劑見習尉官ニ

シテ第八條ノ二第二號又ハ第二號ノ規定ニ該當スル者ヨリ之ヲ任用ス

第十八條 主計中尉ハ主計見習尉官ニシテ第八條ノ三第一號、

第二號又ハ第三號ノ規定ニ該當スル者ヨリ之ヲ任用ス

第十八條ノ二 技術中尉ハ技術見習尉官ニシテ第八條ノ四第一

號又ハ第二號ノ規定ニ該當スルモノヨリ之ヲ任用ス

第十八條ノ三 法務中尉ハ法務見習尉官ヨリ之ヲ任用ス

第十八條ノ四 特務士官タル各科大尉ハ特選ニ依リ當該科ノ少

佐ニ之ヲ任用スルコトヲ得

前項ノ外飛行豫科練習生出身ノ特務士官タル大尉ハ特選ニ依リ士官タル大尉ニ之ヲ任用スルコトヲ得

第四條第二號ノ規定ハ前二項ノ規定ニ依ル任用ニ付テハ之ヲ適用セズ

第十九條 海軍大臣ハ候補生及見習尉官ノ名簿ヲ調製シ該名簿

ノ列序ニ從ヒ士官任用ノ上奏ヲ爲スベシ但シ傷痕又ハ疾病ニ因リ危篤ニ陥リタル者ノ任用ニ付テハ其ノ列序ニ從ハザルコトヲ得

名簿ノ列序ハ海軍大臣之ヲ定ム

第二十條 第十四條又ハ第十七條ノ規定ニ依リ軍醫見習尉官ヨ

リ軍醫少尉若ハ軍醫中尉ヲ任用スル場合又ハ藥劑見習尉官ヨリ藥劑少尉若ハ藥劑中尉ヲ任用スル場合、第十五條若ハ第十八條ノ規定ニ依リ主計見習尉官ヨリ主計少尉若ハ主計中尉ヲ任用スル場合、第十六條若ハ第十八條ノ二ノ規定ニ依リ技術見習尉官ヨリ技術少尉若ハ技術中尉ヲ任用スル場合又ハ第十

六條ノ三若ハ第十八條ノ三ノ規定ニ依リ法務見習尉官ヨリ法務少尉若ハ法務中尉ヲ任用スル場合ニ於ケル任用ノ標準ハ海軍大臣之ヲ定ム

第四章 特務士官ノ任用

第二十一條 特務士官タル各科少尉ハ准士官中左ノ各號ノ一二

該當スル者ヨリ拔擢ニ依リ各科別ニ從ヒ之ヲ任用ス

一 海軍兵學校、海軍軍醫學校、海軍經理學校又ハ海軍練習航空隊選修學生ノ課程ヲ修了シタル者

二 五年ノ實役停年ヲ有シ技術拔群ナル者

戰時又ハ事變ノ際其ノ他補充上必要アルトキハ海軍大臣ノ定ムル所ニ依リ前項ノ實役停年ヲ短縮スルコトヲ得

第二十二條 海軍大臣ハ前條ノ規定ニ該當スル者ノ名簿ヲ調製

シ該名簿ノ列序ニ從ヒ特務士官任用ノ上奏ヲ爲スヘシ

第五章 下士官ノ任用

第二十二條ノ二 二等下士官ハ下士官タラシコトヲ志願スル兵

長中左ノ各號ノ一二該當シ技術優秀ニシテ任用試験ニ合格シタル者ヨリ拔擢ニ依リ各科別ニ從ヒ之ヲ任用ス但シ戰時又ハ事變ノ際其ノ他補充上必要アルトキハ海軍大臣ノ定ムル所ニ依リ實役停年ヲ短縮シ又ハ任用試験ニ依ラズ之ヲ任用スルコ

トヲ得

一 海軍志願兵令第二十九條但書ノ規定ニ依リ海軍練習航空隊ニ入隊シタル飛行豫科練習生、同出身ノ飛行術練習生又ハ飛行術練習生教程卒業ノ掌飛行兵タル者ニシテ一年二月ノ實役停年ヲ有スルモノ

二 師範學校ヲ卒業シ國民學校ノ教職ニ就クノ資格ヲ有スル者ニシテ九月ノ實役停年ヲ有スルモノ

三 前二號以外ノ者ニシテ一年四月ノ實役停年ヲ有スルモノ
公務ニ因ル傷痕又ハ疾病ノ爲危篤ニ陥リタル者ニ付テハ海軍大臣ノ定ムル所ニ依リ前項ノ試験ニ依ラサルコトヲ得
任用試験ニ關スル規定ハ海軍大臣之ヲ定ム

第二十二條ノ三 下士官ノ任用ハ在籍ノ鎮守府司令長官之ヲ行フ但シ艦隊又ハ獨立部隊ニ屬スル者ニシテ前條第二項、第二十三條又ハ第二十三條ノ二ノ規定ニ該當スルモノノ任用ハ其ノ司令長官又ハ司令官之ヲ行フ

第六章 特殊任用

第二十三條 候補生、見習尉官、准士官又ハ兵長ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ第十一條、第十九條及第二十一條乃至第二十二條ノ二ノ規定ニ拘ラス候補生ヲ各科少尉ニ、見習尉

官ヲ各科中、少尉ニ、准士官ヲ特務士官タル各科少尉ニ、兵長ヲ二等下士官ニ各科別ニ從ヒ特ニ之ヲ任用スルコトヲ得
一 敵前ニ在リテ殊勳ヲ奏シ首將之ヲ全軍ニ布告シタル者
二 戰時又ハ事變ノ際殊勳ヲ奏シタル者又ハ勳功顯著ナル者ニシテ其ノ戰時又ハ事變中傷痕又ハ疾病ノ爲危篤ニ陥リタルモノ

三 拔群ナル勇敢ノ行爲アリ功績顯著ニシテ軍人ノ龜鑑トシテ海軍大臣之ヲ海軍全般ニ布告シタル者

第二十三條ノ二 候補生、見習尉官、准士官、上等下士官、兵長又ハ上等兵ニシテ前條第一號又ハ第三號ニ該當スル者ハ第十一條、第十七條乃至第十八條ノ三、第十九條及第二十一條乃至第二十二條ノ二ノ規定ニ拘ラス候補生ヲ各科中尉ニ、各科中、少尉ニ任ズベキ見習尉官ヲ各科大、中尉ニ、各科少尉ニ任ズベキ見習尉官ヲ各科中尉ニ、准士官ヲ特務士官タル各科中尉ニ、上等下士官ヲ特務士官タル各科少尉ニ、兵長ヲ一等下士官ニ、上等兵ヲ二等下士官ニ各科別ニ從ヒ特ニ之ヲ任用スルコトヲ得

特務士官ニシテ前條第一號又ハ第三號ニ該當スル者ハ第十八條ノ四ノ規定ニ拘ラズ各科中尉ニ在リテハ當該科ノ少佐ニ、

兵科主計科又ハ技術科ノ大尉ニ在リテハ當該科ノ中佐ニ特ニ之ヲ任用スルコトヲ得

第二十四條 召集中ノ准士官及兵長ノ實役停年ニ關シテハ現役中及召集中ノモノヲ通算ス

第二十五條 現役准士官又ハ召集中ノ准士官ニシテ殊勳ヲ奏シ若ハ勳功顯著ナル者又ハ第二十一條第一項第一號ノ資格若ハ同條ノ實役停年ヲ有シ功績顯著ナル者ハ現役ヲ退ク際、召集中若ハ召集ヲ解ク際又ハ傷痕若ハ疾病ノ爲危篤ニ陥リタル際特務士官タル各科少尉ニ各科別ニ從ヒ第二十一條及第二十二條ノ規定ニ拘ラス特ニ之ヲ任用スルコトヲ得

第二十六條 現役兵長又ハ召集中ノ兵長ニシテ功績顯著ナル者又ハ第二十二條ノ二ノ實役停年ヲ有シ功績アル者ハ現役ヲ退ク際、召集中若ハ召集ヲ解ク際又ハ傷痕若ハ疾病ノ爲危篤ニ陥リタル際二等下士官ニ各科別ニ從ヒ第二十二條ノ二ノ規定ニ拘ラス特ニ之ヲ任用スルコトヲ得

師範學校ヲ卒業シ國民學校ノ教職ニ就クノ資格ヲ有スル兵長ニシテ第二十二條ノ二ノ實役停年ヲ有シ功績アル者ハ歸休ノ際同條ノ規定ニ拘ラズ特ニ之ヲ二等下士官ニ任用スルコトヲ得

第二十六條ノ二 在郷ノ准士官又ハ兵長ニシテ軍事ニ關シ拔群ノ功績アル者ハ第二十一條、第二十二條及第二十二條ノ二ノ

規定ニ拘ラズ准士官ヲ特務士官タル各科少尉ニ、兵長ヲ二等下士官ニ各科別ニ從ヒ特ニ之ヲ任用スルコトヲ得

第二十六條ノ三 危篤ニ陥リタル際第二十三條、第二十三條ノ二、第二十五條、第二十六條第一項又ハ前條ノ規定ニ該當スルニ至リタル者ハ其ノ死歿ノ後ト雖モ特ニ危篤ニ陥リタル時ニ廻リテ之ヲ任用スルコトヲ得特務士官タル各科大尉ニシテ第二十三條各號ノ一ニ該當スル者ヲ第十八條ノ四ノ規定ニ依リ當該科ノ少佐ニ任用スル場合亦同ジ

第二十七條 外國ノ學校ニ於テ相當ノ課程ヲ修了シタル者ハ試験ヲ行ヒ第二章及第三章ヲ準用シ海軍武官任用委員ノ銓衡ヲ經テ見習尉官又ハ將校相當官ニ特ニ之ヲ採用又ハ任用スルコトヲ得但シ海軍武官任用委員ニ於テ適當ノ學歷ヲ有スト認ムル者ニ在リテハ試験中ノ學術試験ヲ省略スルコトヲ得

第二十八條 第八條ノ三第五號、第八條ノ四第四號又ハ第八條ノ五第二號ノ規定ニ該當スル者ニシテ相當ノ實歴ヲ有スルモノハ少尉級ノ士官ニ、第八條ノ二第四號又ハ第八條ノ六第三號ノ規定ニ該當スル者ニシテ相當ノ實歴ヲ有スルモノハ少尉

級又ハ中尉級ノ士官ニ、第八條ノ六第二號ノ規定ニ該當スル者ニシテ相當ノ實歴ヲ有スルモノハ中尉級又ハ大尉級ノ士官ニ、第八條ノ二第二號、第八條ノ三第二號若ハ第三號又ハ第八條ノ四第二號ノ規定ニ該當スル者ニシテ相當ノ實歴ヲ有スルモノハ少尉級、中尉級又ハ大尉級ノ士官ニ第四條第二號ノ規定ニ拘ラズ海軍武官任用委員ノ銓衡ヲ經テ特ニ之ヲ任用スルコトヲ得

第二十九條 海軍武官ニシテ特別ノ學術技能ヲ有シ且其ノ事績顯著ナル者ハ其ノ學術技能ヲ要スル同官等ノ他ノ海軍武官ニ特ニ之ヲ任用スルコトヲ得但シ任用又ハ進級ニ必要ナル實役停年ヲ有スル者ニ在リテハ其ノ上級ノ官等ノ官ニ之ヲ任用スルコトヲ得

第四條第二號ノ規定ハ前項ノ規定ニ依ル任用ニ付テハ之ヲ適用セス
第一項ノ規定ニ依リ同官等ノ官ニ任用ノ場合ニ於テハ實役停年ハ前後之ヲ通算ス

第七章 雜則

第三十條 實役停年ノ計算ニ付テハ海軍武官進級令ニ依ル

第三十一條 海軍省ニ海軍武官任用委員ヲ置ク海軍部内ノ高等

官中ヨリ海軍大臣之ヲ命ス

海軍武官任用委員ハ第二十七條、第二十八條其ノ他ノ規定ニ依ル士官ノ任用ノ場合ニ於ケル銓衡ノ職務ノ外見習尉官ヲ採用スル場合ニ於テ必要ナル學術試験及身體検査ヲ行フ
學術試験及身體検査ニ關スル規定ハ海軍大臣之ヲ定ム

(昭和十九年九月二十五日
勅令第五百五十三號附則參照)

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

海軍高等武官補充條例ハ之ヲ廢止ス

附則 (大正九年勅令第六十四號)

本令ハ大正九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

帝國大學分科大學ヲ卒業シタル者ハ之ヲ其ノ分科ニ相當スル大學令ニ依ル大學ノ學部ニ於テ學課ヲ修メ學士ト稱スルコトヲ得ル者ト看做シ文官高等試験ニ合格シタル者ハ之ヲ高等試験ニ合格シタル者ト看做ス

附則 (昭和十三年勅令第五百六十五號)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ第十八條ノ二ノ改正規定ハ昭和十三年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

附則 (昭和十七年勅令第四百四十五號)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ左ノ上欄ニ掲グル者ニ該當スル者ハ各其ノ相當ノ下欄ニ掲グル者ト爲リタルモノトシ従前ノ法令中左ノ上欄ニ掲グル者ニ關スル規定ハ各其ノ相當ノ下欄ニ掲グル者ニ之ヲ適用ス

従前ノ第八條第二號乃至第四號ノ規定ニ依ル主計少尉候補生	主計見習尉官
造船少尉候補生	造船見習尉官
造機少尉候補生	造機見習尉官
造兵少尉候補生	造兵見習尉官
齒科醫少尉候補生	齒科醫見習尉官

附 則 (昭和十七年勅令第六百四十八號)

本令ハ昭和十七年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス
 本令施行ノ際現ニ左ノ上欄ニ掲グル者ニ該當スル者ハ各其ノ相當ノ下欄ニ掲グル者ト爲リタルモノトシ従前ノ法令中左ノ上欄ニ掲グル者ニ關スル規定ハ各其ノ相當ノ下欄ニ掲グル者ニ之ヲ適用ス

第十類 任用 進級 増俸

機關少尉候補生	少尉候補生
造船見習尉官	
造機見習尉官	技術見習尉官
造兵見習尉官	

●海軍武官任用令第三條ノ二及第四條ノ臨時特例ニ關スル件

昭和十九年三月二十五日
 勅令第四百四十六號

朕昭和十七年勅令第五百號海軍武官任用令第三條ノ二及第四條ノ臨時特例ニ關スル件改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

(總理、海軍)
 大臣副署

當分ノ内年齡十八年以上四十年未滿ノ者ハ海軍武官任用令第三條ノ二第一項竝ニ第四條第一條及第二號ノ年齡ノ制限ニ關スル規定ニ拘ラズ之ヲ見習尉官ニ採用シ又ハ士官ニ任用スルコトヲ得

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス